

令和元年度東部地区学力向上推進協議会 (研究発表会)



令和2年1月24日(金) 久喜市菖蒲文化会館(アミーゴ)

令和2年1月24日(金)に、東部地区学力向上推進協議会(研究発表会)を、東部管内全小・中・義務教育学校の研究推進担当者、各市町教育委員会学力向上推進担当指導主事など、310名を対象として開催しました。

本発表会においては、東部地区の児童生徒の学力向上を目的とし、『未来を生き抜く人財育成』学力保障スクラム事業』として、春日部市教育委員会、春日部市立内牧小学校、杉戸町教育委員会、杉戸町立杉戸小学校、『チーム埼玉』学力向上パワーアップ事業』として、羽生市教育委員会、羽生市立羽生北小学校、松伏町教育委員会、松伏町立松伏小学校に成果報告を、「学力向上研究校指定事業』として、吉川市教育委員会、吉川市立東中学校に実践発表をしていただきました。

今年度は、新規の取組として、福井県派遣教員による実践発表と、全国学力・学習状況調査を活用した授業改善に係る説明を行いました。それぞれの研究成果をはじめとする学力向上に係る効果的な取組について、東部管内の全小・中・義務教育学校に情報発信しました。

【実践発表】

「学力向上研究校指定事業」

●吉川市教育委員会

●吉川市立東中学校

吉川市立東中学校の実践発表

(1) 研究主題

学力の向上と学習習慣の確立

～主体的学びを目指して、深い見方・考え方を育成する～

(2) 研究の実践(抜粋)

① 専門部会の取組

【深い学び部会の取組】

- ・「主体的・対話的で深い学び」を実現するための授業研究
- ・専科加配を中心に、小学校との連携を図った算数・数学の授業改善

【非認知部会の取組】

- ・学力・学習状況調査などの分析・検証
- ・「コバトンのびのびシート」の作成・活用



- ・小中合同研修会（学級経営についての共有）

② 具体的な取組

- ・授業力向上2ウィーク
- ・全国学力・学習状況調査問題の活用
- ・小学校と連携した取組
- ・生徒との信頼関係づくり
- ・「コバトンのびのびシート」を活用した面談
- ・生徒会主催の取組 RYH（「手を挙げよう！」プロジェクト）
- ・家庭学習を習慣化する取組（学習の塔）
- ・学ぶ環境の改善
- ・学力向上を家族と共に考える取組

③ 成果と課題

【成果】（平成31年度埼玉県学力・学習状況調査結果より）

- ・学力を伸ばした生徒の割合が増加した。
- ・「勉強することが好きである。楽しいから」と回答した生徒が増加した。
- ・3年生の国語、数学の伸びが顕著に見られた。（特に中間層）
- ・授業中の話し合い活動で、自分の考えを言える生徒が増えた。

【課題】

- ・学習習慣が身に付かない生徒への支援の手立てを工夫する必要がある。
- ・非認知能力が県平均を超えていない項目があるため、さらに原因を究明し、方策を考える必要がある。
- ・教員の指導力のスキルアップ体制を整える必要がある。

【福井県派遣教員による実践発表】

「学力向上に資する福井県への派遣研修～1年間の研修を経て～」

●川口市立元郷小学校 山下 剛輝 教諭

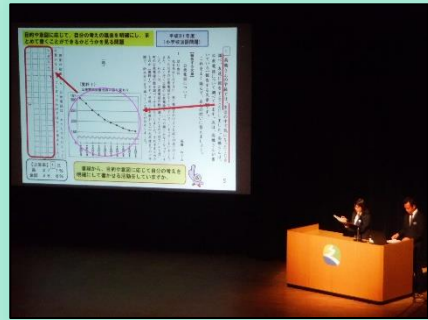
- (1) はじめに
- (2) 学力上位県「福井県」の取組
- (3) 実践報告
- (4) 成果と課題～今、思うこと～
- (5) おわりに



「全国・学力学習状況調査を活用した授業改善」

● 東部教育事務所 学力向上推進担当

- 各学校へのメッセージとして
- 授業アイデア例の活用について
- 各教科の調査問題について
- 授業改善の視点（例）



指導講評及び県からの情報提供

「埼玉県学力・学習状況調査の活用について」

【講師】

県教育局市町村支援部 義務教育指導課
学力向上推進・学力調査担当 藤井 真仁 主任指導主事

【内容】

- 個人結果票の活用
- 各種帳票について
- コバトンのびのびシートの活用
- 分析支援プログラムについて
- データ活用事業分析結果概要

